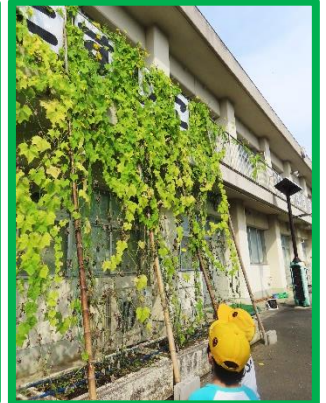


9月30日(水) ヘチマたわしづくり

本校では、毎年「稲沢市緑のカーテン事業」に参加して、南館職員室前と北館ひまわり学級前にヘチマを育てています。理科の観察教材として、4年生が春の発芽から秋に枯れ



るまでの生育の様子を観察しています。現在はようやく実がつき始め、子どもたちが「小さいのと大きいのができている!」とヘチマの実を嬉しそうに見つける様子が見られます。



このヘチマの実を使い、ひまわり学級の児童が自立活動の一環でたわしづくりに取り組みました。包丁を使ってヘチマを切るときは、「包丁使うのこわいなあ」と心配そうな子もいましたが、みんなでヘチマを切ることができました。ヘチマを熱湯の中



に入れる場面では、「お湯がはねないように、そっと入れてね」という先生の助言を聞き、ゆっくりとヘチマをお湯の中に入れる子もいました。ゆであがって冷めたヘチマの皮むきは、するするむける様子を楽しみながら、低学年の子どもたちがていねいに



作業を進めていました。初めてのこと、うまくできるか心配なことばかりの活動でしたが、子どもたちががんばって取り組む姿が印象的でした。できあがったたわしは、掃除で使っています。

